

新型コロナウイルスによる生乳需給への影響を鑑み、直近の飲用等向けの販売状況の推移を中心に毎週発信してまいります。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《ヨーグルトが前週より大きく伸長～年度末に向けて万全の体制を～》

- ・3/8週の牛乳類の家庭内消費については、前週(3/1週)と同程度の水準となっており、販売個数については引き続き堅調に推移している。
- ・ヨーグルトについては、3/9にTV番組で大きく取り上げられた影響もあり、全品目で前週より販売個数が増加している。また、家庭用バターについても販売個数は引き続き堅調に推移している。
- ・なお、1都3県においては、緊急事態宣言が3/21に解除されることとなったが、飲食店への時短要請は継続される見通しにあることから、業務用需要を中心に今後の動向は不透明である。そういった中、需給緩和の恐れのある年度末については全国的に万全の処理体制で臨むとともに、引き続き需要拡大の取組みが重要となる。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI+】

(1)直近の動向(表①参照)

・直近(3/8週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同98.0%、成分調整牛乳：同93.6%、加工乳：同94.8%、乳飲料：同91.1%。

牛乳類トータルでは同96.6%

※参考：2018年度比は、牛乳：104.0%、成分調整牛乳：78.9%、加工乳：170.0%、乳飲料：95.6%(牛乳類トータル：101.0%)

・販売単価は、牛乳：188.6円、成分調整牛乳：172.4円、加工乳：187.1円、乳飲料：149.9円。

(2)各品目とも前週(3/1週)と同程度の水準で推移している。

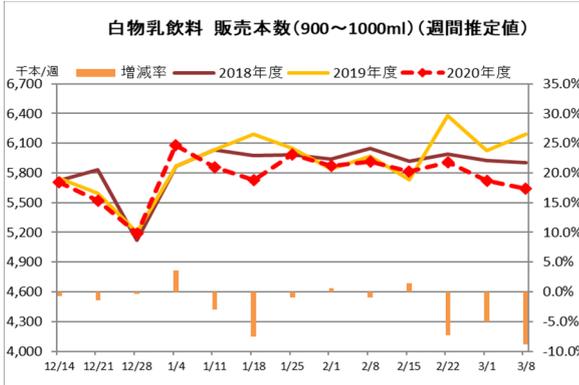
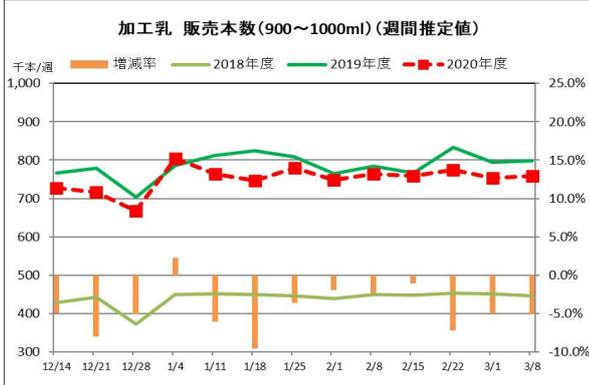
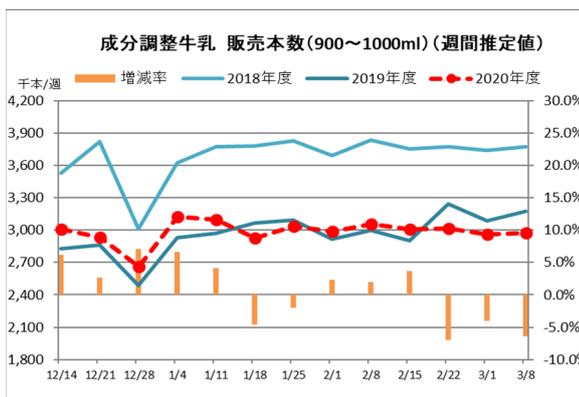
※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	1.11-	1.18-	1.25-	2.1-	2.8-	2.15-	2.22-	3.1-	3.8-
トータル	販売個数	40,017	38,849	40,134	38,984	39,749	39,128	39,765	38,685	38,894
	販売個数前年比	104.4	98.6	104.0	103.8	104.6	105.8	97.4	98.7	96.6
	販売単価	182.6	182.2	182.0	182.1	182.0	182.1	181.9	181.9	181.7
牛乳	販売個数	30,302	29,453	30,336	29,376	30,016	29,549	30,065	29,249	29,520
	販売個数前年比	106.3	100.5	106.0	104.8	106.3	107.0	99.0	99.9	98.0
	販売単価	189.5	189.1	189.1	189.3	189.1	189.1	188.9	189.0	188.6
成分調整牛乳	販売個数	3,094	2,926	3,032	2,984	3,055	3,008	3,017	2,960	2,974
	販売個数前年比	104.2	95.4	98.0	102.3	102.0	103.7	93.0	95.9	93.6
	販売単価	172.6	173.0	172.7	172.3	172.4	172.5	172.9	172.4	172.4
加工乳	販売個数	764	746	779	749	764	758	774	754	758
	販売個数前年比	93.9	90.4	96.5	98.1	97.2	98.9	92.9	94.9	94.8
	販売単価	189.8	188.1	187.4	188.7	187.4	188.1	187.2	187.5	187.1
乳飲料	販売個数	5,857	5,725	5,987	5,874	5,914	5,814	5,909	5,721	5,643
	販売個数前年比	97.1	92.4	99.0	100.6	99.1	101.5	92.7	95.0	91.1
	販売単価	150.9	150.5	150.1	150.6	150.2	150.3	150.0	150.1	149.9

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(3/8週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%未満、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上。

(2)各品目とも前週(3/1週)より販売個数が大きく増加しており、ドリンクタイプ・個食タイプは減少幅が縮小した。
また、大容量タイプは、伸び率がさらに拡大した。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	1.11-	1.18-	1.25-	2.1-	2.8-	2.15-	2.22-	3.1-	3.8-
ドリンクタイプ	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
個食タイプ	↘	↓	↘	↘	↘	↘	↓	↘	↘
大容量タイプ	→	↘	→	→	→	→	↘	→	→

 : 前年比90%未満	 : 前年比105%以上110%未満
 : 前年比90%以上100%未満	 : 前年比110%以上120%未満
 : 前年比100%以上105%未満	 : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※本データの収集・分析は、2020年度生乳需要基盤確保事業を活用し実施しております。